

みず

すいとう

# 水ぼうそう(水痘)に注意！

富岡・甘楽地域では水ぼうそうの報告が増えています。  
水ぼうそうの原因ウイルスは非常に感染力が強いため、注意が必要です。



## ●どんな病気？

- 水ぼうそうの原因ウイルスに感染すると、2～3週間の潜伏期間を経て発症します。はじめに、発熱とともに体に赤い発疹(ぶつぶつ)が現れます。その後、発疹が水ぶくれとなり、全身に広がります。
- 通常、発熱は数日でおさまり、水ぶくれはかさぶたになります。



## ●どうやってうつるの？

- 飛沫感染: ウイルスを含むくしゃみや咳のしぶきを吸い込むことで感染します。
- 空気感染: ウイルスが空気中に浮遊し、それを吸い込むことで感染します。
- 接触感染: 水ぶくれの中の液体、唾液、鼻水など触ることで感染します。また、肌が直接接触することで感染することもあります。



## ●予防方法は？

- ワクチンを2回受けることで発症を予防できると考えられています。また、2回接種して発症した場合であっても重症化を防ぐ効果が期待できます。
- 生後12月から生後36月に至るまでの間にある方(1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日までの方)は無料でワクチンを受けられます。



## ●家庭での注意点は？

- 発疹が現れる1～2日前から、発疹が出た後4～5日(あるいはかさぶたになるまで)は他の人にうつす可能性があります。
- 「水ぼうそうにかかったことがある人」か、「ワクチンを2回打った人」がお世話をすることが望ましいです。
- 水ぼうそうにかかった人や、周りのものを触った後は、手を洗うか、アルコール消毒薬で手を消毒しましょう。タオルやコップは他の家族と共用せず、その人専用に使います。部屋は定期的に換気しましょう。
- 水ぼうそうにかかった人はできるだけマスクをつけましょう。

## ●登校のめやす

学校保健安全法施行規則により、すべての発疹がかさぶたになるまでは出席停止(※)と定められています。この間は登園・登校は控えましょう。

※ただし、学校医やその他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

心配な症状がある場合は、かかりつけ医を早めに受診しましょう